

# 令和5年第4回防府市議会定例会会議録（その5）

○令和5年9月29日（金曜日）

---

## ○議事日程

令和5年9月29日（金曜日） 午前10時 開議

- 1 開 議
  - 2 会議録署名議員の指名
  - 3 議案第63号 令和5年度防府市一般会計補正予算（第4号）  
（予算委員会委員長報告）
  - 4 議案第64号 令和5年度防府市公共下水道事業会計補正予算（第1号）  
（産業建設委員会委員長報告）
  - 5 認定第1号 令和4年度決算の認定について  
（一般・特別会計決算特別委員会委員長報告）
  - 6 議案第65号 令和4年度防府市水道事業剰余金の処分について  
議案第66号 令和4年度防府市公共下水道事業剰余金の処分について  
認定第2号 令和4年度防府市上下水道事業決算の認定について  
（以上上下水道事業決算特別委員会委員長報告）
  - 7 常任委員会の閉会中の継続調査について
- 

## ○本日の会議に付した事件

目次に記載したとおり

---

## ○出席議員（24名）

1番	吉村 祐太郎 君	2番	清水 力志 君
3番	河村 孝 君	4番	宇多村 史朗 君
6番	藤村 こずえ 君	7番	曾我 好則 君
8番	青木 明夫 君	9番	梅本 洋平 君
10番	和田 敏明 君	11番	村木 正弘 君
12番	石田 卓成 君	13番	久保 潤爾 君
14番	高砂 朋子 君	15番	今津 誠一 君
16番	山田 耕治 君	17番	橋本 龍太郎 君

18番	上田和夫君	19番	安村政治君
20番	河杉憲二君	21番	三原昭治君
22番	田中健次君	23番	松村学君
24番	森重豊君	25番	田中敏靖君

---

○欠席議員

なし

---

○説明のため出席した者

市長	池田豊君	副市長	能野英人君
教育長	江山稔君	代表監査委員	末吉正幸君
上下水道事業管理者	河内政昭君	総務部長	白井智浩君
人事課長	大倉孝規君	総合政策部長	永松勉君
文化スポーツ観光交流部長	杉江純一君	生活環境部長	金澤哲君
健康福祉部長	石丸典子君	産業振興部長	藤井一郎君
土木都市建設部長	石光徹君	入札検査室長	河村明夫君
会計管理者	廣中敬子君	農業委員会事務局長	栗原努君
監査委員事務局長	國澤明君	選挙管理委員会事務局長	須藤千鶴君
消防長	米本静雄君	教育部長	高橋光男君

---

○事務局職員出席者

議会事務局長 寺畑俊孝君 議会事務局次長 石井朋子君

---

午前10時 開議

○議長（田中 敏靖君） 定足数に達しておりますので、これより本日の会議を開きます。

---

会議録署名議員の指名

○議長（田中 敏靖君） 本日の会議録署名議員を御指名申し上げます。24番、森重議員、1番、吉村議員、御兩名にお願い申し上げます。

議事日程につきましては、お手元に配付しております日程に基づいて進行したいと思いますので、よろしく御協力のほどお願い申し上げます。

---

議案第63号令和5年度防府市一般会計補正予算（第4号）

（予算委員会委員長報告）

○議長（田中 敏靖君） 議案第63号を議題といたします。

本案については、予算委員会に付託されておりましたので、委員長の報告を求めます。  
久保予算委員長。

〔予算委員長 久保 潤爾君 登壇〕

○13番（久保 潤爾君） さきの本会議におきまして、予算委員会に付託となりました議案第63号令和5年度防府市一般会計補正予算（第4号）につきまして、去る9月19日に委員会を開催し、審査いたしましたので、その経緯と結果について御報告申し上げます。

審査の過程における主な質疑等でございますが、新庁舎備品整備事業について、「執務エリアの椅子は職員の作業効率が落ちないようにしっかりと更新していただきたいかがか」との質疑に対し、「執務エリアの椅子については、職員が業務を効率よく進めていくには重要な備品になりますので、必要なものにつきましては、しっかりと整備させていただきたいと考えております」との答弁がございました。

次に、庁舎移転事業について、「移転準備から完了までの費用を含んでいるか」との質疑に対し、「本庁舎を含め文化福祉会館等6施設から新庁舎への移転について、移転計画の作成から引っ越しの完了までの費用を含んでおります」との答弁がございました。

また、「書類の縮減についてはどのように進めていくか」との質疑に対し、「書類の縮減については2か月に1回程度、不要文書を一齐処分するなど、徐々に整理を進めております」との答弁がございました。

次に、小学校施設整備事業及び中学校施設整備事業について、「トイレの洋式化は、どのようなトイレを対象とするのか」との質疑に対し、「児童・生徒が日常的に使用する和式トイレを洋式化いたします。校舎内のトイレ以外に屋外や屋内運動場のトイレも対象としております」との答弁がありました。

また、「この事業のスケジュールについて、どのように考えているのか」との質疑に対し、「議決をいただきましたら直ちに着手し、新年度に間に合うようにしたいと考えております。また、学期中の工事となるため、学校側と協議をしながら進めてまいります」との答弁がございました。

次に、人手不足対策事業のうち、運転手確保緊急対策支援補助金について、「市内の運転手は現状どの程度不足しているのか。また、どの程度の人数の確保を考えているのか」との質疑に対し、公共交通では約60名、トラック運転手では約50名不足しているとお

聞きしており、100名程度確保できるよう予算計上しております」との答弁がございました。

次に、チャレンジほうふ中小企業成長発展事業について、「インボイス制度への税理士等の相談は、どういった体制で行うのか」との質疑に対し、「コネクト22において、特別相談窓口を設置し、相談対応を行う中で、必要に応じて税理士等へつないでいくという形で行うことを考えております」との答弁がございました。

審査を尽くしたところで本案の承認についてお諮りいたしましたところ、全員異議なく原案のとおり承認した次第でございます。

以上、御報告申し上げますので、よろしく御審議のほどお願い申し上げます。

○議長（田中 敏靖君） ただいまの委員長報告に対する質疑を求めます。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（田中 敏靖君） 質疑を終結して討論を求めます。12番、石田議員。

○12番（石田 卓成君） 議案第63号令和5年度防府市一般会計補正予算（第4号）について、会派として賛成の立場で討論させていただきます。

このたびの補正予算でございますが、人手不足というところに重点を置いた、すばらしい、時代のニーズに的確に沿った予算だと思っております。その中で、ちょっと一点要望があってこれ言わせていただくんですが、生産性向上の企業の設備投資の事業なんですけど、3分の2の補助をつけるということで、内容としてはすばらしいと思うんですけど、中小企業振興条例とか、今、ほかの入札とかでもそうなっているんですけど、なるべく地元での設備投資につなげてほしいと思っているわけでございます。委員会でちょっとお聞きしましたが、今のところそういうことは考えていないということでありましたけど、できることなら市内、それが駄目なら県内、そして国内というふうに、なるべくそういう条件をつけていただいて、どうしても高度なもんなんです市内で買えないというのがあればしょうがないですけど、多少市外のほうがちょっとだけ安いから、そっちに逃げてしまうとか、そういったことがないように、3分の2も補助をするわけですから、その辺を重々気をつけていただければと思います。

あともう一点、運転手不足の補助金なんですけど、これも本当に運転手不足で皆さんお困りの中で、すばらしい事業だと思います。国のほうは、今また、ちょっと大臣経験者らがライドシェアにしようとか、また構造改革の話が徐々に出てきて、本当にどんだけ日本を破壊すればいいんかと、僕も悔しく思っているんですけど、それをあらがうような事業であって、本当にどんどん増えてくれればなと思っております。公共交通なんかでは、他産業に比べて、やっぱり賃金も3割程度低いみたいなんですよね。それでなかなか人が集

まりにくいということもあるみたいなので、こういった補助金を使って、どんどんその運転手さんが増えてくれることを願っております。

以上をもちまして、賛成の討論とさせていただきます。

○議長（田中 敏靖君） 討論を終結してお諮りいたします。本案については、委員長の報告のとおり、これを可決することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（田中 敏靖君） 御異議ないものと認めます。よって、議案第63号については原案のとおり可決されました。

---

#### 議案第64号令和5年度防府市公共下水道事業会計補正予算（第1号）

##### （産業建設委員会委員長報告）

○議長（田中 敏靖君） 議案第64号を議題といたします。

本案については、産業建設委員会に付託されておりましたので、委員長の報告を求めます。安村産業建設委員長。

〔産業建設委員長 安村 政治君 登壇〕

○19番（安村 政治君） さきの本会議におきまして、産業建設委員会に付託となりました議案第64号令和5年度防府市公共下水道事業会計補正予算（第1号）につきまして、去る9月20日に委員会を開催し、審査いたしましたので、その経緯と結果について御報告申し上げます。

審査の過程における主な質疑等を申し上げますと、「瓦礫などの混入土の撤去費用約3億円の内訳は」との質疑に対し、「敷地から見つかった瓦礫などの混入土は、体積が3,030立方メートル、重さが6,100トンございます。この混入土は、産業廃棄物として処分する必要があるため、まず処分費が約1億7,000万円で、1トン当たり2万8,000円でございます。その他の費用として、積み込み、運搬等に係る経費が約2,700万円、工事諸経費が約6,700万円、消費税が約2,600万円かかってまいります。また、工事を日本下水道事業団に委託しているため、管理諸費が必要となり、合計で3億389万円となります」との答弁がございました。

審査を尽くしたところでお諮りいたしましたところ、全員異議なく原案のとおり承認した次第でございます。

以上、御報告申し上げますので、よろしく御審議のほどお願い申し上げます。

○議長（田中 敏靖君） ただいまの委員長報告に対する質疑を求めます。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（田中 敏靖君） 質疑を終結して討論を求めます。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（田中 敏靖君） 討論を終結してお諮りいたします。本案については、委員長の報告のとおり、これを可決することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（田中 敏靖君） 御異議ないものと認めます。よって、議案第64号については原案のとおり可決されました。

---

### 認定第1号令和4年度決算の認定について

#### （一般・特別会計決算特別委員会委員長報告）

○議長（田中 敏靖君） 認定第1号を議題といたします。

本件については、一般・特別会計決算特別委員会に付託されておりましたので、委員長の報告を求めます。森重特別委員長。

〔一般・特別会計決算特別委員長 森重 豊君 登壇〕

○24番（森重 豊君） さきの本会議におきまして、一般・特別会計決算特別委員会に付託となりました認定第1号令和4年度決算の認定につきまして、去る9月22日、25日及び26日に委員会を開催し、審査をいたしましたので、その経緯と結果について御報告申し上げます。

本決算の認定につきましては、決算書並びに成果報告書を参考にしながら、一般会計及び特別会計について、会計ごとにその執行状況等について審査を行ったものでございます。

それでは初めに、一般会計決算の審査の過程における主な質疑等につきまして、常任委員会所管ごとに御報告申し上げます。

初めに、総務委員会所管につきまして御報告申し上げます。

まず、総務部所管の一般会計に関する主な質疑等でございますが、「実質単年度収支が約7億3,000万円と大きな黒字となっているが、その主な要因は何か」との質疑に対し、「国の地方財政対策の活用や市税等の上振れなどの影響もありますが、主な要因としては、駅北公有地の売却など臨時的な収入によるものと考えております」との答弁がございました。

さらに、「実質単年度収支が3年連続の黒字となっているが、この状況をどのように捉えているのか」との質疑に対し、「国の地方財政対策を有効的に活用した結果、3年連続の黒字となっております。しかしながら、新年度予算の編成に当たっては、財政調整基金の多額の取崩しに頼っていることから、財政状況については、いまだ楽観視できる状況

ではないことから、今後も気を緩めることなく、財政運営に努めてまいります」との答弁がございました。

次に、消防本部所管の一般会計に係る質疑等の主なものを申し上げますと、「令和3年度と比較すると職員数が減少しているが、職員の確保についてどのように考えているのか」との質疑に対し、「職員数については、今後、定年引上げに伴い人員も増えるものと考えております。また、令和7年度からの通信指令センターの共同運用開始により、指令員の人員が削減されることから、その人員を新たに建設する東出張所に配置するなど今後も職員の確保に努めてまいります」との答弁がございました。

続きまして、教育民生委員会所管につきまして御報告申し上げます。

まず、生活環境部所管の一般会計に関する主な質疑でございますが、地球温暖化対策事業において、「2030年までに設置可能な市有施設の50%に太陽光発電設備を設置するとされているが、達成できるめどがあるか」との質疑に対し、「設置可能な市有施設は55施設であり、既に18施設は設置を完了しております。昨年度の調査で抽出した19施設について、2030年までに設置する計画を立てており、合わせて37施設に設置することとなりますので、50%を達成できる見込みがございます」との答弁がございました。

次に、健康福祉部所管の一般会計に係る質疑等の主なものを申し上げますと、乳幼児健康診査事業について、「3歳児健康診査では、昨年度から視力検査が実施されているが、どのような成果につながっているか」との質疑に対し、「39名の幼児が再度、眼科による精密検査を受けており、早期の治療につながっております」との答弁がございました。

次に、教育委員会所管の一般会計に係る質疑等の主なものを申し上げますと、個のニーズに応じた教育支援事業について、「通級指導教室幼児部に通う幼児の人数と補助指導員の配置はどのようになっているのか。また、通級指導の順番待ちの要因は何か」との質疑に対し、「昨年度は、佐波小学校56名に対し3名、華浦小学校42名に対し2名、中関小学校31名に対し1名の補助指導員を配置し、療育や相談等の対応をしております。コロナ禍により人数をまとめて指導することができなかったなどの事情により、通級指導の順番をお待たせしたものと考えております」との答弁がございました。

続きまして、産業建設委員会の所管につきまして御報告申し上げます。

まず、産業振興部所管の一般会計に関する主な質疑等でございますが、「人財活躍サポート事業のうち、デジタル人材育成事業及び女性やシニア層の再就職へ向けた就業相談窓口を設置したことによる成果は」との質疑に対し、「女性を対象としたデジタル人材育成事業につきましては14名が受講され、うち3名が受講後1か月以内に就職されてお

ます。また、ルルサス防府に設置した女性やシニア層を対象とした就業相談窓口においても、シニア層を中心に就職につなげているところですよ」との答弁がございました。

次に、土木都市建設部所管の一般会計に係る質疑等の主なものを申し上げますと、空家等対策事業について、「予算残額が多いが、未執行の内訳をお尋ねする」との質疑に対し、「主なものとしたしましては、空き家対策防府モデル事業補助金として1,000万円の予算がございましたが、募集に対して4件の相談があったものの、いずれも申請に至らず、全額が未執行となっております。また、空き家利活用改修費補助金につきましても、150万円の予算がございましたが、申請がなく未執行となっております」との答弁がございました。

続きまして、各特別会計決算の主な質疑等でございますが、介護保険事業特別会計決算については、「介護予防・生活支援サービス事業はどの程度の効果があるのか」との質疑に対し、「主軸となる短期集中予防型サービスにおいて、昨年度は192名が利用し年度内に144名が終了されました。そのうちの126名が介護サービスを利用することなく地域での生活に戻っておられ、効果があったものと考えております」との答弁がございました。

その他、競輪事業、国民健康保険事業、と場事業、青果市場事業、交通災害共済事業及び後期高齢者医療事業の各特別会計決算につきましては、特に御報告申し上げる質疑等はございませんでした。

審査を尽くしたところで認定について討論を求めましたところ、「当初予算の審査の際、一般会計においては、行政手続のデジタル化や行政改革による職員不足など問題点を指摘して反対したが、その反対した予算が改善されないまま執行をされていることから認定については承認し難い」との反対意見がありましたので、挙手による採決の結果、賛成多数により承認した次第でございます。

以上、御報告申し上げますので、よろしく御審議のほどお願い申し上げます。

○議長（田中 敏靖君） ただいまの委員長報告に対する質疑を求めます。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（田中 敏靖君） 質疑を終結して討論を求めます。2番、清水議員。

○2番（清水 力志君） 認定第1号令和4年度決算の認定について、「日本共産党」は、一般会計及び特別会計の中で、国民健康保険事業特別会計決算、介護保険事業特別会計決算、後期高齢者医療事業特別会計決算について反対の立場を表明いたします。

令和4年度においては、原油価格、物価高騰対策などに素早く対応していただいたことについては高く評価をいたします。



しかしながら、当初予算の際に、新庁舎建設についてや行政改革による職員数の減少などの問題点、また公民館機能強化や行政手続のデジタル化など、事業そのものには問題はないとしても、セキュリティ上の問題が起きたときの場合の対処や市民への対応なども含めて、反対に市の事務負担の増加は避けられないといったことを指摘をさせていただきました。今回、当初反対いたしましたこの予算、改善されずに執行をされております。

よって、認定第1号令和4年度決算の認定については認定し難いという態度を表明いたします。

以上です。

○議長（田中 敏靖君） 13番、久保議員。

○13番（久保 潤爾君） 認定第1号令和4年度決算について、「無所属の会」は、認定の立場で討論いたします。

まず、喫緊の課題である少子高齢化対策に多くの歳出がなされ、その事業効果が着実に現れていること、また、物価高騰に対して機動的に対応されていることを評価いたします。

また、財政需要の増加が続く中においても、市債の残高が減少し、財政調整基金も増加するなど、先を見据えた財政運営をしておられることも高く評価いたします。

実質単年度収支も3年連続で黒字になりましたが、決算特別委員会での執行部の説明により、楽観できる黒字ではないことが分かりました。

今後も、物価高騰、新庁舎建設、少子高齢化対策など多くの財政需要が見込まれる中、厳しい財政運営が続くことと思われまます。事業の見直しを不断に行い、最小限の費用で最大の効果が上がっているか、重複している事業はないか、時代に合わなくなっている内容はないかなどの検証をしっかりと行い、税源涵養と歳出削減に努められ、総合計画に掲げられた事業も着実に実行しつつ、健全で持続可能な財政運営に努められるよう要望いたしまして、認定の討論といたします。

○議長（田中 敏靖君） 22番、田中健次議員。

○22番（田中 健次君） 認定第1号令和4年度決算認定については、反対の立場を表明します。

一般会計については、当初予算の際に、物価高騰対策など評価すべき点と、問題のある点を述べさせていただき、マイナンバーカードの取組などから反対しました。

特別会計については当初予算審査の際に、これまで問題にしてきた点がそのままであり、国民健康保険、介護保険、後期高齢者医療の3会計に反対いたしました。

反対予算がそのまま執行されたものであり、承認し難いものであることを申し上げ、決算の反対討論といたします。

○議長（田中 敏靖君） 3 番、河村議員。

○3 番（河村 孝君） ただいま議題となっております認定第 1 号令和 4 年度決算の認定に、「公明党」として承認の立場から討論させていただきます。

まず、令和 4 年度は自主財源の根幹となる市税では、個人市民税は前年度より微増したものの、法人市民税はここ数年減少傾向にあり、限られた財源の中、第 5 次防府市総合計画「輝き！ほうふプラン」に盛り込まれた新庁舎建設や佐波川右岸の防災広場等の大型事業が本格化するとともに、時代の要請であるカーボンニュートラルやデジタル化の推進のほか、新型コロナウイルス感染症対策や経済対策等、実効性のある事業展開が求められておりました。

その中、国や県との連携の上、財源確保の最大限の努力や財政健全化の取組により、実質単年度収支は 7 億 3, 5 3 3 万円の黒字となっており、3 年連続の黒字決算となっております。

また、第 5 次防府市総合計画に定めた、毎年度、決算時における財政調整基金残額 2 0 億円以上確保という目標についても、本年度も達成されたことを評価いたします。

具体的には、河川やため池の浚渫を行う緊急浚渫推進事業や地域防災力向上事業など、防災・減災対策のほか、安全に暮らすための坂本住宅の建て替えに着手した公営住宅等長寿命化事業、犯罪被害者等支援事業など安心・安全を第一へのきめ細かな取組を評価いたします。

次に、早期治療につなげるための 3 歳児視力検査事業、支援拡充の不妊治療費助成事業や子育てサロン支援事業、おたふく風邪予防接種事業、子宮頸がん予防ワクチン接種事業、木育の森の豊かな贈り物事業など、「公明党」として推進してまいりました子育て支援策の充実を評価いたします。

また、拡充されたがん検診受診率向上事業、女性デジタル人材を育成する人財活躍サポート事業などの取組も評価するとともに、今後の推進にも大いに期待をしているところでございます。

次に、教育面におきましては、電子図書導入事業や、コミュニティ・スクール推進事業、学校施設長寿命化事業のほか、誰もが一緒に遊べるインクルーシブ遊具設置事業や、野球場改修にも着手する事業が推進され、「公明党」として提案してきたことでもあり評価いたします。

さらに、時代の要請として、「公明党」として推進してまいりましたカーボンニュートラルとデジタル化につきましては、各事業で幅広くきめ細かに事業展開され、大いに評価しておりますとともに、未来のために今後の事業推進に期待をしております。

以上、これまで「公明党」として提案、主張してきました事業も盛り込まれており、様々な市民生活向上のための予算執行がなされていることを確認し、本決算の認定については承認をいたします。

以上、討論といたします。

○議長（田中 敏靖君） 10番、和田議員。

○10番（和田 敏明君） 認定第1号令和4年度決算の認定について、会派「正論」は、賛成の立場で討論申し上げます。

1点苦言を呈しておきますが、10款教育費、1項教育総務費、通学用かばんの支給事業なんですけど、本事業は子どもたちの身体的負担や、保護者の経済的負担を軽減するために行われておる事業と認識しておりますし、ここに記述されております。

そこで、私のほうから保護者の経済的負担軽減に本当になっているのかということでは、現在ランドセルを購入された児童が一体何人いるのかということをお聞きしたところ、それはお答えできないということで、改めて調査をすることをお願いいたしましたが、これは貧困家庭が洗い出される等の理由で、それは調査できない旨の回答がなされました。

しかしながら、これは決算の認定ですので、保護者の負担軽減、本来の目的であるところが本当に達成されたのか、これだけ税金を投入して、それが活用なされているのかということ調べていくことは、これは我々議会の役割であり、責任であります。また、そこをしっかりと調査して、次にどうつなげていくかということもしっかり把握していくことは、行政の義務であります。まず、このことを苦言を呈しておいて、また改めまして、その保護者の負担軽減、目的とするところの調査を改めて要望いたします。

また、その他の事業につきましては、まだ、令和4年度はコロナ禍が2類相当にありましたことから、本市といたしましては他市に先駆けて、コロナ感染症対策をしっかりと行ってきたと認識しております。

また一方で、コロナ禍の中での各事業の遂行については、本当に対策に苦慮されてきたと思いますが、その中でしっかりやってこられたというふうに認識しておりますので、執行部の御努力を大きく評価いたしまして、特別会計も含めての、全ての決算の認定について賛成といたします。

以上です。

○議長（田中 敏靖君） 18番、上田議員。

○18番（上田 和夫君） 認定第1号令和4年度決算の認定について、会派「自由民主党」として、賛成の立場で討論をいたします。

厳しい財政状況が続く中、3年連続で実質単年度収支を黒字にされた、池田市長の手腕

は高く評価しております。また、令和4年度は、第5次防府市総合計画「輝き！ほうふプラン」の2年目にあたり、防府の未来を形づくる予算として実施されたものですが、6つの重点プロジェクトを中心に、コロナ対策、カーボンニュートラル、デジタル化など地域のニーズにしっかりと呼応し、迅速かつ適切に実施されておりましたことから賛成といたします。

以上です。

○議長（田中 敏靖君） 討論を終結してお諮りいたします。本件については、反対の意見もありますので、起立による採決といたします。

認定第1号については、委員長の報告のとおり、これを認定することに賛成の議員の起立を求めます。

〔賛成者 起立〕

○議長（田中 敏靖君） 起立多数でございます。よって、認定第1号については認定することに決しました。

---

議案第65号令和4年度防府市水道事業剰余金の処分について

議案第66号令和4年度防府市公共下水道事業剰余金の処分について

認定第2号令和4年度防府市上下水道事業決算の認定について

（以上上下水道事業決算特別委員会委員長報告）

○議長（田中 敏靖君） 議案第65号、議案第66号及び認定第2号を一括議題といたします。

本議題については、上下水道事業決算特別委員会に付託されておりましたので、委員長の報告を求めます。青木特別委員長。

〔上下水道事業決算特別委員長 青木 明夫君 登壇〕

○8番（青木 明夫君） さきの本会議におきまして、上下水道事業決算特別委員会に付託となりました議案第65号、議案第66号及び認定第2号につきまして、去る9月6日に委員会を開催し、審査いたしましたので、その経緯と結果について御報告申し上げます。

本決算につきましては、さきに監査委員から審査意見書が提出されておりますが、委員会といたしましては、執行部から参考資料により説明を受け、審査を行ったものでございます。

初めに、議案第65号令和4年度防府市水道事業剰余金の処分について、議案第66号令和4年度防府市公共下水道事業剰余金の処分についての2議案につきましては、執行部の説明を了とし、全員異議なく承認いたしました。

次に、認定第2号令和4年度防府市上下水道事業決算の認定中、水道事業会計決算について、審査の過程における質疑等の主なものを申し上げますと、「昨年の決算特別委員会において、水道料金は今後10年程度は据置きの見込みという答弁をされたが、物価や電気料金が高騰を続ける中、見込みに変化があるか」との質疑に対し、「委員御案内のとおり、物価や電気料金が高騰しており、また人件費なども上昇傾向にあり、水道料金の10年の据置きは難しい状況になってきております。今後の情勢にもよりますが、概略で試算すると、今後5年程度は水道料金の改定を行わず運営できると考えております」との答弁がございました。

また、「新庁舎建設にあたり、地下水をかなりくみ上げているようだが、近くにある寿第1、第2水源地への影響は」との質疑に対し、「新庁舎建設に伴い、基礎くいを打つため、地下水の水流の変化や濁りなどの影響が出る可能性があります。そのため観測孔を設置して監視いただくとともに、工事の節目、節目には協議を行っております」との答弁がございました。

最後に、公共下水道事業会計決算について、審査の過程における質疑等の主なものを申し上げますと、「監査委員の決算審査意見書には、使用料の改定はやむを得ない状況まで追い込まれており、市民への十分な周知と理解の下に、公共の福祉の増進と経営の健全性の確保に取り組まれるよう望むと記されているが、市民への周知と理解についてどのように考えているか」との質疑に対し、「市広報やホームページにより、経営状況や事業内容等を掲載し、市民への周知、理解に努めてまいります」との答弁がございました。

これに対し、「分かりやすく理解していただけるよう工夫をお願いしたい」との要望がございました。

審査を尽くしたところでお諮りいたしましたところ、水道事業会計については、「当初予算審議の際、夜間・休日の水道施設運転管理業務等が民間委託されていることに対し、市民の基本的なライフラインを委託することについて反対した。その予算が執行されたものであり、決算の認定は承認し難い」との意見がございましたので、挙手による採決の結果、賛成多数により承認した次第でございます。

以上、御報告申し上げますので、よろしく御審議のほどお願いをいたします。

○議長（田中 敏靖君） ただいまの委員長報告に対する質疑を求めます。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（田中 敏靖君） 質疑を終結して一括して討論を求めます。22番、田中健次議員。

○22番（田中 健次君） 上程されております3議案のうち、認定第2号の上下水道決

算については反対し、剰余金処分に関わる他の2議案については、賛成の態度を表明いたします。

水道事業会計につきましては、当初予算審議の際に、平日夜間・土日の水道施設運転管理業務が民間に委託されておりますが、市民の基本的なライフラインをこうした形で委託することに反対をいたしました。その予算が執行されたものであり、この決算認定については承認し難い旨を申し上げます。

○議長（田中 敏靖君） 討論を終結してお諮りいたします。まず、議案第65号及び議案第66号の2議案については、委員長の報告のとおり、これを可決することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（田中 敏靖君） 御異議ないものと認めます。よって、議案第65号及び議案第66号の2議案については、原案のとおり可決されました。

次に、認定第2号についてお諮りいたします。本件については、反対の意見もありますので、起立による採決といたします。

本件については、委員長の報告のとおり、これを認定することに賛成の議員の起立を求めます。

〔賛成者 起立〕

○議長（田中 敏靖君） 起立多数でございます。よって、認定第2号については認定することに決しました。

---

#### 常任委員会の閉会中の継続調査について

○議長（田中 敏靖君） 次に、常任委員会の閉会中の継続調査についてお諮りいたします。

各常任委員長から、委員会において調査中の所管事務について、防府市議会会議規則第108条の規定により、お手元に配付しております申出書のとおり、閉会中の継続調査の申出がありました。各常任委員長からの申出のとおり、閉会中の継続調査に付することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（田中 敏靖君） 御異議ないものと認めます。よって、各常任委員長からの申出のとおり、閉会中の継続調査に付することに決しました。

---

○議長（田中 敏靖君） 以上で、今期定例会に付議されました案件は全て議了いたします

した。

これもちまして、令和5年第4回防府市議会定例会を閉会いたします。

長時間にわたり慎重な御審議をいただきまして、ありがとうございました。

なお、お疲れのところ申し訳ございませんが、10時50分から会派代表者会議を開催いたしますので、関係の方々は第一委員会室に御参集ください。お疲れさまでした。

午前10時41分 閉会

---

地方自治法第123条第2項の規定により署名する。

令和5年9月29日

防府市議会議長 田 中 敏 靖

防府市議会議員 森 重 豊

防府市議会議員 吉 村 祐太郎